



すくすく元気な6年生

R7.9 特別号
常滑東小 保健室

7月15日に、「がん」をテーマとした学校保健委員会を行いました。保健の授業で生活習慣病について学習し、専門のお医者さんを招いてより深く考え、学ぶ機会になったと思います。当日の様子やみなさんの感想を載せていますので、お家の人と振り返りながら、ぜひ一緒に読んでください。

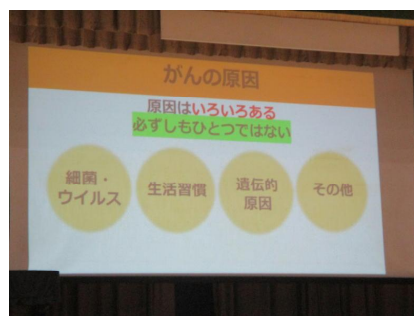


第1回学校保健委員会

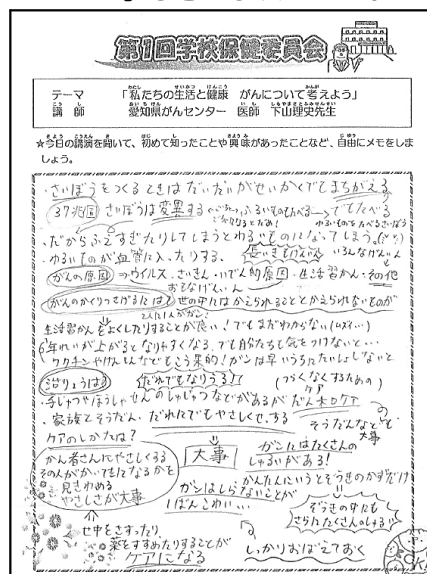
「私たちの生活と健康-「がん」について考えよう-」
愛知県がんセンター 医師 下山理史先生

当日の様子

★当日ご参加いただいた保護者の方、ありがとうございました！



どの子もぎっしりメモが！



どうして「がん」の勉強をするの？

「がん」は細胞分裂の途中で起こる異常な変異

=回数が多くなると、かかる可能性が高くなる



★日本の平均寿命は男性約81才、女性87才（2024年時点）であり、長生きをすると一生分の細胞分裂の回数は増えるため、「がん」になる可能性は高くなる。

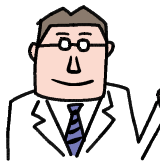
「がん」の原因を知り、なりにくくするために今できることを考えよう

細菌・ウイルス→感染対策をする・ワクチンを打つ

遺伝的な原因・その他（不明など）→がん検診を受ける

生活習慣→今から気をつけていけそう！

→食事（野菜不足・脂肪のとりすぎ）・運動不足・たばこ・お酒など



いろいろ努力をしたり工夫をしたりしても、だれでも「がん」になることはあります。だからこそ助け合いや、だれにでも優しく接すること・親切にすることが大切で、それ自体がケアになります。

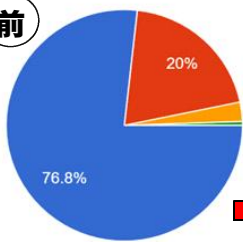
「がん」になっても自分らしく暮らすことはでき、正しく理解することが「だれもが暮らしやすい社会」につながっていきます。

6年生の感想

★事前・事後アンケートより

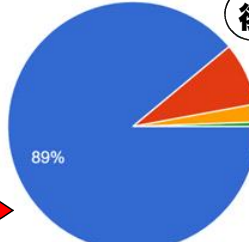
○「がん」の学習は、健康な生活を送るために重要だ

前



「そう思う」と
答えた子が12%増

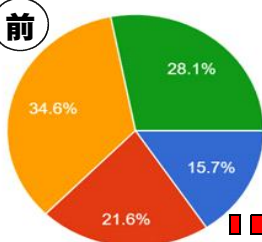
後



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

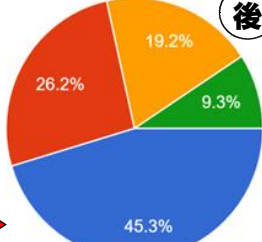
○「がん」になっても、自分らしい生活を送ることができる

前



「そう思う」と
答えた子が29.6%増
「そう思わない」と
答えた子が18.8%減

後



【感想】

がんは誰にでもなる病気だからこそ、周りと助け合って支えていくことが大切だと思いました。家族や周りの友達などががんになったりしたらきつと怖いし不安になると思うから、「大丈夫だよ」など、優しい声かけをして、不安をといてあげたいなと思いました。私自身も生活習慣を見直し、規則正しい生活をして、がんを予防していきたいです。

